

令和6年度 事業報告

公益財団法人 熊本県総合保健センター

目 次

1	総括	P1
2	収支報告	P1
3	令和6年度基本戦略及び事業戦略の取り組みについて	P1
	(1)基本戦略	
	(2)事業戦略	
	(3)新センター建設	
4	保健事業実績	P4
	(1)地域保健	
	(2)職域保健	
	(3)学校保健	
	(4)特定保健指導	
	(5)精度管理	
5	普及啓発活動	P10
	(1)自主事業	
	(2)支部事業	
	(3)協力事業	
6	健康経営（SOUHO革命）	P12
7	受託事業	P13
8	研究・調査事業協力	P14
9	学会発表等	P15
10	設備投資	P17
11	その他	P18
	(1)熊本県集団検診機関連絡会	
	(2)熊本県胃検診推進協議会	
	(3)主な行事	
	(4)学会・研修会等参加状況	
	附属明細	P21

1 総括

令和6年度の事業実績については、地域保健は237,172人(前年度比100%)、職域保健は109,037人(前年度比100%)、学校保健は19,324人(前年度比92%)となり、合計は365,533人(前年度比100%)となった。

地域保健については、巡回健診で、ふるさと総合健診・胃がん検診・乳がん検診は減少したものの、施設健診では、胃がん検診をのぞく他のがん検診及び特定健診が増加した。

職域健診については、巡回健診で、協会けんぽ健診及び法定健診等の健診が増加し、施設健診では、協会けんぽ健診ドックが増加したが他の法定健診等については減少した。

特定保健指導については、「健診と特定保健指導の一体化」のため、健診当日の保健指導を強化した結果、増加した。

また、「熊本県健康増進計画(第5次くまもと21ヘルスプラン)」及び「第4次熊本県がん対策推進計画」など県の健康づくり施策と連携し、生活習慣病予防のための特定健康診査や保健指導、各種がん検診、普及啓発活動を実施することにより県民の健康づくりに寄与することができた。

2 収支報告

事業活動収入	2, 236百万円	(収支計画	2, 209百万円)
事業活動支出	1, 930百万円	(収支計画	2, 094百万円)
事業活動収支差額	306百万円	(収支計画	115百万円)
投資活動収入	600百万円	(収支計画	186百万円)
投資活動支出	501百万円	(収支計画	258百万円)
当期収支差額	363百万円	(収支計画	0百万円)
次期繰越収支差額	897百万円	(収支計画	469百万円)

3 令和6年度基本戦略及び事業戦略の取り組みについて

(1) 基本戦略

経営基盤確立のため、総務部において、①生産性向上、②人材力強化、③組織風土改革、④コンプライアンスの4つの戦略に取り組んでいる。令和6年度は、人材力強化の観点から、昨今の人件費高騰に伴う臨時職員賃金の見直しを行った。

また、職員の給与明細等を電子化して、業務の効率化を行った。

更に、施設内外において健康経営についての普及啓発を行った。

(2) 事業戦略

① 健康管理部

システム関係では、第4期特定健診・特定保健指導の見直しに応じた問診票等の変更を行ったが、大きな混乱等もなく順調に対応できた。特定保健指導は、当初の予定よりシステムの納期の遅れがあったものの、不具合等に迅速に対応しながら、安定稼働にむけて取組んだ結果、初回支援実施数は、3,408名(前年度比101.6%)となった。

特定保健指導では、第4期の見直しに合わせた新しいツールや支援方法等のマニュアルを作成し、月1回の内部研修で行動計画立案についての症例検討やグループワークを行った。また、新たに他健診機関との意見交換会を実施し、支援方法、課題や問題点などを情報共有することで、支援の質の向上に努めた。

今後は、支援完了者数を増やすために、把握した中断理由を参考にして、受診者に合った支援コースを検討する。

精密検査受診率の向上については、至急精密対象者420名中、未受診者182名(未受診者割合43.3%)に対し、1~2か月後を目途に受診状況の確認、勧奨を行った。受診勧奨後の各種健診種類別の精検受診率は、地域63.9%→74.1%(+10.2Pt)、職域施設21.7%→44.5%(+22.8Pt)、職域巡回47.8%→53.6%(+5.8Pt)、ドック52.1%→65.2%(+13.1Pt)となり、すべての受診率が向上した。

また、受診勧奨の2回実施を委託契約している自治体においては、肺・胃・乳がんがんで精検受診率100%となった。受診勧奨文書についても精密検査受診率が低い「大腸がん」、および循環器疾患の主な原因である「動脈硬化」に着目した内容を含んだ勧奨通知を作成した。さらに、受診状況調べをもとに医療機関への照会を実施した。今後も受診率の向上に向け、取り組みを継続していく。

リスクアセスメント健康診断については、研修会参加や関係各所と連携・情報収集を行い、検査内容及び料金設定を取りまとめた。

② 巡回健診部

収益体制を確立するため、職域健診ではパンフレットを作成し、新規事業所や既存事業所への積極的な渉外活動を行った。

地域健診では、自治体との連携強化を進め、未受診者への勧奨やチラシ作成による受診者確保に努めた。

また、健診の効率化への取組みとして、申込数の偏り是正を目的に、曜日別申込状況を分析し、適正な日程調整を行った。さらに、受診傾向を考慮しワークライフバランスを重視した健診計画を策定した。

一方で、健診体制の向上のため、専門資格保有者の計画的育成として、超音波検査士育成5か年計画に基づき病院実習等を行い、認定超音波検査士の育成を行った。また、各職種において健診時の多能工化のスキルアップのための実地研

修を行った。

その他、検診車の整備として、超音波検診車を作製し超音波検診拡充に努めた。また、乳がん検診車について、令和7年度納車に向け、仕様をとりまとめた。

③ 施設健診部

受診者の満足度向上のため、休日健診を10月・1月・2月に1日ずつ、日曜日の午前中に実施し384名が受診した（平均受診率98%）。申込者が多く、70件の予約を断った。受診者アンケートにより、日曜日の健診希望が多い事、また、当日の会計で待ち時間が長い等の意見があり、次年度の対応策を検討し、計画している。また、今年は胃内視鏡検査も実施したため、受診者の満足度向上につながった。

さらに、がん検診をセットで受診できるように、令和7年2月から新たにレディースセット（乳がん、子宮頸がん、骨粗しょう症）を導入した。また、新規検査として腸内フローラ検査の検討を行い、令和7年度からの導入を決めた。

また、待ち時間対策として、令和6年8月から電子書籍を導入した。

業務効率化については、Web予約・問診の実施に向けた新たなシステムを導入し、稼働テストを行った。

新規顧客の開拓については、退職後のシニア層への健診コース（いきいきドック）を新設し、12月～3月の閑散期に実施。また、熊本市住民健診において、腹部超音波検査を含む新しいコース（トクトクコース）の検討を行い、令和7年度からの実施を決めた。

（3）新センター建設計画

令和6年5月、公募型プロポーザルにより佐藤総合計画・太宏設計共同企業体を設計者として選定した。

その後、基本設計を行うため、各部署よりプロジェクトメンバーを選任、また（一財）熊本県建築住宅センターより技術支援を受け、設計者と諸室配置及び必要設備の検討を行った。

その結果、建築工事費の高騰に伴い建設事業費を見直すとともに、建物面積を建設基本計画より約30%縮小した。

その他建設に係る地質調査、アスベスト調査、敷地測量など必要な調査のほか、（株）医療開発研究所に医療機器整備の支援を依頼し、現有機器調査を実施した。令和7年3月、基本設計を完了した。

並行して、建設工事期間中の受診者及び検診車両等の代替駐車場として、九州財務局、熊本県及び熊本市と駐車場用地の借用について協議を行った。

一方、資金面では、令和7年1月、肥後銀行より建設資金の融資についての承諾があった。

4 保健事業実績

当センターが実施する保健事業は、「地域保健」、「職域保健」、「学校保健」の3つに分けられ、令和6年度実績数は、以下のとおりである。

(1) 地域保健

① 巡回健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
特定健康診査	21,600	22,946	1,346	22,794	152	101%
ふるさと総合健診	8,270	8,030	△240	8,413	△383	95%
胃がん検診	13,810	12,847	△963	13,546	△699	95%
子宮頸がん検診	13,210	13,569	359	13,593	△24	100%
乳がん検診	19,520	20,007	487	20,237	△230	99%
肺がん検診	33,970	32,235	△1,735	31,951	284	101%
大腸がん検診	20,670	20,088	△582	20,154	△66	100%
結核検診	39,640	37,991	△1,649	37,782	209	101%
骨粗鬆症検診	7,370	7,810	440	7,693	117	102%
腹部超音波検診	30,380	31,572	1,192	31,412	160	101%
その他	10,040	11,545	1,505	11,332	213	102%
小計	218,480	218,640	160	218,907	△267	100%

(達成率：100%)

② 施設健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
特定健康診査	2,281	2,439	158	2,165	274	113%
日帰りドック等	819	810	△9	757	53	107%
胃がん検診	1,332	1,234	△98	1,325	△91	93%
子宮頸がん検診	1,827	2,054	227	1,830	224	112%
乳がん検診	2,559	2,572	13	2,266	306	114%
肺がん検診	2,567	2,601	34	2,319	282	112%
大腸がん検診	2,240	2,247	7	2,040	207	110%
結核検診	2,540	2,579	39	2,298	281	112%
その他	2,442	1,996	△446	2,250	△254	89%
小計	18,607	18,532	△75	17,250	1,282	107%

(達成率：100%)

地域保健	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	237,087	237,172	85	236,157	1,015	100%

(達成率：100%)

(2) 職域保健

① 巡回健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
法定外	4,170	4,176	6	4,009	167	104%
法定	11,810	11,576	△234	11,129	447	104%
生活習慣病予防コース	3,950	3,972	22	3,710	262	107%
協会健保（一般）	4,410	4,337	△73	4,177	160	104%
特殊健診	13,870	11,459	△2,411	10,058	1,401	114%
特定健康診査	1,300	1,509	209	1,386	123	109%
結核検診	940	940	0	857	83	110%
胃がん検診	520	266	△254	431	△165	62%
子宮頸がん検診	310	309	△1	347	△38	89%
乳がん検診	370	353	△17	396	△43	89%
大腸がん検診	4,180	4,128	△52	4,102	26	101%
腹部超音波検診	1,130	1,213	83	1,446	△233	84%
その他	5,595	7,181	1,586	7,901	△720	91%
小計	52,555	51,419	△1,136	49,949	1,470	103%

(達成率：98%)

② 施設健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
法定外	240	234	△6	266	△32	88%
法定	7,230	6,966	△264	7,427	△461	94%
生活習慣病予防コース	2,774	2,519	△255	2,695	△176	93%
協会健保（一般）	9,100	9,571	471	9,982	△411	96%
協会健保（ドック）	3,079	2,873	△206	2,069	804	139%
各種人間ドック	3,562	3,493	△69	3,403	90	103%
特殊健診	2,744	3,544	800	3,348	196	106%
特定健康診査	788	744	△44	734	10	101%
結核検診	97	100	3	109	△9	92%
胃がん検診	243	248	5	259	△11	96%
子宮頸がん検診	3,670	3,561	△109	3,522	39	101%
乳がん検診	4,254	4,190	△64	4,163	27	101%
大腸がん検診	585	487	△98	459	28	106%
その他	19,474	19,088	△386	20,496	△1,408	93%
小計	57,840	57,618	△222	58,932	△1,314	98%

(達成率：100%)

職域保健	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	110,395	109,037	△1,358	108,881	156	100%

(達成率：99%)

(3) 学校保健

① 教職員

(単位：人)

健(検)診項目	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
結核検診	6,350	6,459	109	6,351	108	102%
結核検診(精密)	0	0	0	0	0	-
胃がん検診	2,410	2,215	△195	2,454	△239	90%
小計	8,760	8,674	△86	8,805	△131	99%

(達成率：99%)

② 学生

(単位：人)

健(検)診項目	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
結核検診	10,720	10,612	△108	10,687	△75	99%
結核検診(精密)	0	0	0	0	0	-
ツベルクリン反応・BCG	0	0	0	0	0	-
尿・心電図・貧血・診察	1,510	38	△1,472	1,512	△1,474	3%
小計	12,230	10,650	△1,580	12,199	△1,549	87%

(達成率：87%)

学校保健	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	20,990	19,324	△1,666	21,004	△1,680	92%

(達成率：92%)

～ 実績合計 ～

(単位：人)

巡回健(検)診	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	292,025	289,383	△2,642	289,860	△477	100%

(達成率：99%)

(単位：人)

施設健(検)診	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	76,447	76,150	△297	76,182	△32	100%

(達成率：100%)

(単位：人)

総合計	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
	368,472	365,533	△2,939	366,042	△509	100%

(達成率：99%)

(4) 特定保健指導

特定保健指導は、センターが実施する健康診断の受診者に対して行う保健事業である。健診受診後の生活習慣改善につなげるための重要な事業である。

保健師、管理栄養士が、センター施設内及び各地域へ出向き実施する。

[地域 巡回]

(単位：人)

特定保健指導項目	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
動機付け支援	573	511	△62	584	△73	88%
積極的支援	137	132	△5	141	△9	94%
合計	710	643	△67	725	△82	89%

(達成率：91%)

[地域 施設]

(単位：人)

特定保健指導項目	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
動機付け支援	84	217	133	114	103	190%
積極的支援	26	77	51	41	36	188%
合計	110	294	184	155	139	190%

(達成率：267%)

[職域 巡回]

(単位：人)

特定保健指導項目	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
動機付け支援	159	134	△25	130	4	103%
積極的支援	311	224	△87	270	△46	83%
合計	470	358	△112	400	△42	90%

(達成率：76%)

[職域 施設]

(単位：人)

特定保健指導項目	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
動機付け支援	702	820	118	844	△24	97%
積極的支援	1,055	1,293	238	1,231	62	105%
合計	1,757	2,113	356	2,075	38	102%

(達成率：120%)

～ 特定保健指導 実績合計 ～

(単位：人)

特定保健指導項目	令和6年度 計画 A	令和6年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和5年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
動機付け支援	1,518	1,682	164	1,672	10	101%
積極的支援	1,529	1,726	197	1,683	43	103%
合計	3,047	3,408	361	3,355	53	102%

(達成率：112%)

(5) 精度管理

がん検診における精度管理のひとつとして、健診後の精密検査結果を把握し、集計統計から発見されるがんの数等を全国レベルと比較している。また、発見がんについては、「発見がん個票」を作成し、ステージや組織、分類等について追跡調査を行い、制度管理に努めている。なお、日本対がん協会へ報告を行った令和4年度におけるがんの実績は下表のとおりである。

		要精検率 (%)	精検受診率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)
肺がん検診	センター	0.20	86.41	13	0.03
	全国	1.86	80.08	1,538	0.05
胃がん検診	センター	2.74	65.52	30	0.07
	全国	4.97	79.67	1,793	0.11
大腸がん検診	センター	6.01	60.61	54	0.09
	全国	5.26	68.50	3,941	0.16
子宮頸がん検診	センター	1.64	86.06	11	0.03
	全国	1.42	85.31	178	0.02
乳がん検診	センター	4.29	89.31	80	0.25
	全国	4.11	90.33	3,238	0.30
総 数	センター			188	
	全国			10,688	

※1 全国実績については「令和6年(2024年度)版がん検診年次報告書(日本対がん協会)」より記載

※2 胃がん検診の発見がん数には、内視鏡を含む

※3 子宮頸がん検診の発見がんは浸潤がんと腺がんの合計

がん検診のプロセス指標(許容値)

指 標	肺がん	胃がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
要精検率	3.0%以下	11.0%以下	7.0%以下	1.4%以下	11.0%以下
精検受診率	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	80%以上
がん発見率	0.03%以上	0.11%以上	0.13%以上	0.05%以上	0.23%以上

また、外部機関評価は以下のとおりである。

①全国労働衛生団体連合会	胸部 X 線検査分野	評価 A
	胃部 X 線検査分野	評価 A
	臨床検査分野	評価 A
	労働衛生検査分野	評価 A
	腹部超音波検査分野	評価 B
②結核予防会	胸部 X 線画像評価	判定 A
③日本乳がん検診精度管理 中央機構	乳房 X 線画像	評価 B
④熊本県臨床検査精度管理	臨床化学	判定 A
	免疫血清	判定 A
	血液	判定 A
	細胞	判定 A
	一般	判定 A
	生理	判定 A
⑤日本医師会	臨床検査精度管理	判定 A
⑥日本臨床衛生検査技師会	臨床化学	評価 A
	免疫血清	評価 A
	血液	評価 A
	細胞	評価 A
	一般	評価 A
	生理	評価 A
⑦熊本県医師会 熊本県臨床検査技師会	標準化サーベイ (第 104～106 回)	評価 A

5 普及啓発活動

法人独自による公益目的事業のための普及啓発活動はもとより、公益財団法人結核予防会及び公益財団法人日本対がん協会の熊本県支部としての普及啓発を行った。また、講演会の実施や地域イベントへの参加などを通じ、広く県民へ健康づくりのための普及啓発を行った。

(1) 自主事業

①地域保健研修会

【令和6年10月4日（金） 熊本テルサ】

特別講演 「行動変容・受診率向上のためのソーシャル・マーケティング
～対象集団とともに広げる健康づくり～」

東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻
健康教育・社会学分野 講師 鎌田 真光 先生

報告事項 「当センターにおける健康経営の取組みについて
～血糖自己測定会の報告～」

健康管理部 健康支援室 管理栄養士 酒井 海帆
「大腸がん（便潜血）検査について」

施設健診部 施設健診室 検査班 山田 寛朗

情報提供 「熊本県の健康をめぐる現状と健康増進の取組み」

熊本県 健康福祉部健康局 健康づくり推進課

②がん教育出前授業（新規事業）

【令和7年1月31日（金）熊本市立湖東中学校】

がんについて正しい知識や情報、がん検診の必要性を理解することを目的とし、中学校での「がん教育出前授業」を行った。授業では、講話だけでなく、がんについてのクイズや健診機関で働く人の職場体験ブース、及び検診車見学、そうほくん出動を行った。また、大切な人（家族）へのメッセージカードを配布して、保護者世代や祖父母世代に「がん検診」の普及啓発を行った。

③健康講話

健診を受託している事業所等より依頼を受け、セミナーを実施した。

【セミナー内容】

- ・あなたとあなたの大切な人の健康を守る ～健診と禁煙～
- ・セルフケア ～ストレスと上手につきあう方法～
- ・時間栄養学を味方につけよう

～体内時計を整えて、ベスト体調・ベストパフォーマンスを目指しましょう～
・あなたもできる！体内時計をいかした健康づくり
～知って得する時間栄養学～

(2) 支部事業

① 複十字シール運動

複十字シール運動（8月1日～12月31日）に合わせ、熊本県健康を守る婦人の会とともに募金活動を行った。なお、今年度の募金総額は、5,089,071円であった。

② 結核予防・がん征圧街頭キャンペーン

【令和6年9月21日（土） 熊本市 ゆめタウンはません】

全国一斉結核予防週間及びがん征圧月間に係る行事として、県民への結核・がんに対する正しい知識の普及啓発のため、熊本県健康を守る婦人の会熊本市支部及び熊本県の健康危機管理課・健康づくり推進課、熊本市の健康危機管理課・健康づくり推進課とともに、結核パネルや肺がんモデルの展示、結核予防に関する資料の配布、複十字シール運動募金や「がん検診無料デジタルクーポン券」の配布を行った。

また、からだスマイルコーナーでは、体組成測定やベジメータ、健康相談を行った。検診リーフレット・歯ブラシなどを配布し、検診受診の啓発を行った。当センターマスコットキャラクター「そうほくん」との記念撮影には、子供たちが大勢押しかけていた。

③ リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2024 くまもと

【令和6年5月11日（土）12日（日） 熊本市 白川公園】

当センターのブースで、がん検診のパネルやポスターを掲示し、「がん検診無料デジタルクーポン券」の配布を行った。

(3) 協力事業

① ジャパン・マンモグラフィー・サンデー

【令和6年10月15日（日）】

子育て・介護・仕事など多忙な日々を過ごす女性のため、「10月の第3日曜日に全国どこでもマンモグラフィー検査が受診できる環境作り」を提唱する「ジャパン・マンモグラフィー・サンデー（JMSプログラム）」に賛同し、116名の健診を実施した。

健（検）診毎の内訳は、乳がん検診47名、子宮頸がん検診39名、肺がん検診69名、胃がん検診45名、大腸がん検診62名、特定健診58名であった。

②テレビ出演等による普及啓発活動

テレビくまもと「てれくま医療情報室」(熊本県医師会へ協賛)

令和6年9月11日(水)「がん征圧月間」 神谷 千晴 医師

令和6年9月18日(水)「結核・呼吸器感染症予防週間」

迫田 芳生 医師

③菊池郡市薬剤師会 市民公開講座

【令和6年8月18日(日)】

菊陽町図書館ホールにて、当センターのブースで、肺がんや乳がんの模型、がん検診のパネルやポスターを掲示し、ベジメータ測定会・「がん検診無料デジタルクーポン券」の配布を行った。

④令和6年度東区民まつり「けんぐん食と健康まつり」

【令和6年11月16日(土)】

健軍商店街アーケードにて、当センターのブースで骨粗鬆症の無料検診や、ベジメータ測定会・「がん検診無料デジタルクーポン券」の配布を行った。

⑤令和6年度「くまもと健康づくり県民横丁」

【令和7年2月9日(日)】

下通アーケードにて、当センターのブースでベジメータ測定会・検診受診啓発グッズの配布を行った。

6 健康経営「SOUHO革命」

国が推奨する「健康経営」について、センター職員の自己健康管理能力を高め、心身の健康を向上させ、センター経営の発展につなげることを目的に「SOUHO革命」と称し、①栄養、②運動、③禁煙、④睡眠の4つの柱を置いたプログラムを策定した。

令和6年度は、「栄養」の面からベジメータ測定会・みそ玉づくり・健康レシピ募集を行った。「運動」では、通年で実施している歩数アップ大会やラジオ体操の他、新たにスポーツイベント参加賞の実施・足型測定会・55歳以上の職員を対象に生き生き職場づくり大人の体力測定会を行った。「睡眠」の面からは、眠りの環境相談会・アロマセラピー講座を行った。また、虫歯・歯周病予防を目的に、お口の健康チェックを行った。環境の改善としては、ベビーリーフ販売・SOUHOカフェ・マルシェを設置し、継続的な野菜摂取の促進や職員が手軽に軽食等を購入できる環境整備を行った。

また、全国健康保険協会（協会けんぽ）熊本県支部の呼びかけで、従業員の健康増進に取り組む企業の連携を目的として設立された「くまもと健康企業会」の定例会に参加した。

さらに、経済産業省の健康経営優良法人認定制度（大規模法人部門）において上位 500 社に与えられる「健康経営優良法人 2025（ホワイト 500）」の認定を受けた。（県内では、2 法人のみ）

7 受託事業

(1) 熊本県より受託した以下の事業を行った。

①全国がん登録事業

熊本県からの受託事業として実施している「がん登録事業」は、県内の医療機関の協力により、全国がん登録に係るデータ 22,996 件、地域がん登録に係るデータ 22 件を受理し、国に設置されたデータベースへの登録を行った。それに付随して令和 3 年度の病院別を実施する遡り調査を 355 件実施した。

また、各医療機関から提供されたデータを対象に、がんに係る調査研究目的のため申請があった 6 機関に 35,323 件の予後情報の提供を行った。

②国保ヘルスアップ支援事業

令和 5 年度から引き続き県国保ヘルスアップ支援事業「二次医療圏の現状に応じた保健事業支援」業務を熊本県から受託した。主な委託内容は下記のとおり。

ア) 働き盛り世代への健康支援について

事業主等を対象とした研修会を開催するため、市町村国保加入者の多い小規模事業場や個人事業主が多く集まる食品衛生協会の総会や企業の安全大会、商工会の集まり等を活用して、3 か所 311 名に熊本県の健康課題や健診受診の重要性等を啓発した。また、保健所と連携し、商工会や事業所を訪問し、3 つの保健所管内でセミナーを開催し 228 名の参加を得た。セミナー参加者に対しアンケート調査を実施し、回答者の約 85%が「意識や行動の変化があった」と回答する等、一定の成果が確認された。

イ) 二次医療圏毎の市町村支援について

現状把握のために県保健所 10 か所全てに各 1 回以上のヒアリングを実施し、圏域の現状と課題、市町村支援の取組状況等の聞き取りを行った。その結果、4 つの保健所（宇城、山鹿、御船、水俣）から依頼があり、資料の提供やベジメータ体験、保健指導などを行った。また、市町村職員及び保健所職員の「保健事業スキルアップ研修会」を 3 回シリーズで開催し、延べ 149 名の参加があった。研修受講者から健診受診率向上に向けた

実践的で具体的な研修を求める意見が多かったことから、追加して「行動変容・受診率向上のためのソーシャル・マーケティング研修会」を開催した。参加者 54 名からは“新たな視点で学ぶことができ、事業に活かしたい”という声が複数寄せられた。

働き盛り世代への健康支援及び二次医療圏における市町村支援は、地域・職域の連携、地域の健康寿命の延伸等に向けた重要な取組であり、次年度の委託に繋がった。

(2) 全国健康保険協会熊本支部より受託

①講師派遣型健康づくりセミナー

令和 6 年度より講師派遣型健康づくりセミナーを全国健康保険協会熊本支部から受託した。従業員のヘルスリテラシーの向上を目的とし、依頼があった事業所に対して、対面もしくはオンラインにてセミナーを実施するものである。

1 テーマ 30 分とし、食習慣・飲酒・運動・肩こり腰痛予防・お口の健康・禁煙・メンタルヘルス対策・睡眠・健診結果の活用等、13 テーマの中から最大 2 テーマまで選択可能とした。

令和 6 年 6 月～令和 7 年 3 月の 9 か月間で、30 分セミナー (1 テーマ) 43 件、60 分セミナー (2 テーマ) 81 件の合計 124 件のセミナーを実施した。

受講者に対しアンケート調査を実施した結果、セミナーの満足度では「満足した」「やや満足した」との回答が 93.5%、セミナーに対する理解度では「分かりやすかった」が 95.9%、知識の変化では「知識が増えた」が 93.0%、行動変容では「行動変容につながる」が 85.0%であり、本事業の目的である「従業員のヘルスリテラシーの向上」を概ね達成できたと考える。

8 研究・調査事業協力

国及び研究機関等が実施する研究・調査事業への協力を行った。

(1) 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験 (J-START)

(2) 独立行政法人 労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所

東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究

(3) 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験研究

(4) 国立がん研究センター 社会と健康研究センター

職域における喫煙対策対話型支援の有効性評価

9 学会発表等

(1) 第 110 回の本消化器病学会総会 (令和 6 年 5 月 10 日 徳島県)

「胃がん検診における内視鏡検査での十二指腸乳頭部 (主乳頭) 観察の意義」

医師 上田城久朗

【目的】対策型の胃がん検診における十二指腸腫瘍の発見、及び主乳頭観察の成否における因子を検討する。

【対象と方法】2019 年 4 月から 2023 年 3 月まで、当センターで行った熊本市胃がん検診における内視鏡検査 510 例 (男性 188 例・女性 322 例、平均年齢 67.8 歳) を対象とした。対象における主乳頭の観察の成否については患者背景因子と手技関連因子を単変量及び多変量解析を行った。

【結果】対象 510 例中、表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍 (SNADET) を 1 例、神経内分泌腫瘍 (NET) を 1 例認めた。SNADET の症例については内視鏡的治療を行われ腺腫であった。神経内分泌腫瘍の症例は手術を行われ G-1 の NET であった。主乳頭を観察できた 119 例において観察成否の因子については、性別・十二指腸潰瘍瘢痕の有無・鎮静剤使用の有無・過去に ERCP 等の胆道内視鏡に従事していたか否か等の項目を検討した。単変量解析 (Fisher の正確確率検定) と多変量解析 (ロジスティック回帰分析) いずれにおいても胆道内視鏡に従事していたか否かのみが有意な因子となった。

【結論】今回の検討では、対策型の胃がん検診における内視鏡検査において治療対象となる腫瘍性病変を 2 例発見した。スクリーニング検査であっても十二指腸の腫瘍性病変の存在を念頭に置き、また乳頭部については診る意識を持って観察すべきである。

(2) 第 117 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会

(令和 6 年 6 月 22 日 北九州市)

「対策型検診で発見された十二指腸乳頭部腫瘍から考察する検診における内視鏡検査での主乳頭観察の意義」

医師 上田城久朗

当センターは 2019 年 4 月より熊本市胃がん検診における内視鏡検査を施行しており、2023 年 3 月まで 510 例の対策型検診 (内視鏡検査) を行っている。経過中、十二指腸乳頭部の神経内分泌腫瘍 (NET) を 1 例発見したので、対策型の胃がん検診における十二指腸乳頭部病変の発見及び主乳頭観察の成否における因子を検討した。

【対象と方法】2019 年 4 月から 2023 年 4 月まで、当センターで行った熊本市胃がん検診における内視鏡検査 510 例 (男性 188 例・女性 322 例、平均年齢 67.8 歳) を対象とした。対象における主乳頭の観察の成否については患者背景

因子と手技関連因子を単変量及び多変量解析を行った。

【結果】対象 510 例中、119 例は十二指腸乳頭部の観察が可能であった。十二指腸乳頭部を観察できた 119 例において傍乳頭憩室を 2 例、神経内分泌腫瘍 (NET) を 1 例認めた。NET については熊本市内の基幹病院で根治術を行われ、G-1 の NET であった。主乳頭観察成否の因子については、性別・十二指腸潰瘍瘢痕の有無・鎮静剤使用の有無・過去に ERCP 等の胆道内視鏡に従事していたか否か等の項目を検討した。単変量解析 (Fisher の正確確率検定) と多変量解析 (ロジスティック回帰分析)、いずれにおいても胆道内視鏡に従事していたか否かのみが有意な因子となった。

【結論】十二指腸乳頭部腫瘍は、いわゆる直視鏡を用いた上部消化管内視鏡検査 (esophagogastroduodenoscopy: EGD) で唯一発見可能な胆道腫瘍であるため、EGD を施行する際は乳頭部の観察を意識して行うべきである。

(3) 第 83 回全国産業安全衛生大会 (令和 6 年 11 月 オンライン)

「当センターにおける特定保健指導実施者への歯科に関するアンケート調査報告について」

保健師 渡部菜々子

【目的】2022 年の骨太の方針で国民皆歯科健診の具体的な検討が掲げられたこと、歯周疾患が生活習慣病重症化因子の 1 つであることを鑑み、歯科に関する認知度やニーズ等を把握する。

調査方法：当センターで施設健診受診の特定保健指導実施者を対象にアンケート調査を実施。調査期間は令和 5 年 6 月 1 日から 12 月 1 日で、1014 名にご協力頂いた。

【結果】①歯周病について部分的にしか知らない人が多かったことから、歯周病のリスク (特に全身への影響) の周知が重要であること ②40 歳代の約 6 人に 1 人がかみにくさを自覚していたことから、20 歳代・30 歳代からの歯周病予防の啓発が必要であること ③カイ 2 乗検定にてかみにくさと喫煙の関連性が示されたことから、喫煙者への禁煙支援が必要であること ④今後、歯科健診が導入された場合、対象者が受診しやすい環境づくり等が必要であること の 4 点が分かった。

【結論】今回の調査結果を踏まえ、生活習慣病予防のために特定保健指導時に歯科衛生も踏まえた支援を意識し、歯科を定期受診していない人へ定期受診の必要性を伝えることに努めていきたいと考える。

(4) 第 53 回日本消化器がん検診学会九州地方会 (令和 6 年 9 月 28 日 沖縄県)

「熊本県での技師における読影教育方法の報告」

【目的】昨今、胃X線検査読影医師不足が課題となっており、また逐年検診にも関わらず発見時すでに進行胃がんと診断される症例が少なからずある。このような症例をなくすため、撮影技術力はもとより技師読影の重要性が大きくなってくる。そこで、今回技師読影能の標準化を目指すために熊本県での勉強会や各施設での教育取り組みを報告する。

【方法】熊本県消化管造影懇話会技師世話人施設5施設への読影教育についての調査を行った。

【報告】熊本県に於いて、胃透視検査に関する勉強会は、参加者20名以上規模では把握しているだけで1開催である。コロナウイルス感染症拡大前は同規模で3開催だったが、環境の変化から減少した。いずれも、医師及び技師が参加しての勉強会であった。そこで、読影能の標準化を目的とし、また経験年数の少ない技師が参加しやすいよう読影指定方法の症例検討ではなく多くの症例を見てもらい、撮影時に症例類似所見とマッチングさせる記憶に基づいた読影力向上（存在診断）を目指し、順次ステップアップ（質的診断）してもらい読影登竜門をコンセプトとした勉強会を開催することで読影教育をおこなっている。

今回の調査結果では概ね技師読影を行っているが共通課題として胃透視検査に興味を持つ技師が減っている、教育方法の確立及び勤務時間や医師との連携など運用面の構築に苦慮していることが分かった。

運用面の課題は多いものの教育面では全国各地の勉強会に於いてWebを使用したハイブリッド開催及びオンデマンド等で後日時間を気にせず研鑽できるように変化を遂げているので今後教育方法のひとつとして推奨していく。

10 設備投資

保健事業実施に必要な車両や機器、システム等の整備を行った。

主なものは、以下のとおりである。

(1) 車両関連（税込）

超音波検診車1台	16,280千円
----------	----------

(2) 機器関連

フルオート非接触眼圧計1台	1,408千円
---------------	---------

オートフラクトメータ1台	1,265千円
--------------	---------

胃部X線マッチングPC端末1台	2,090千円
-----------------	---------

解析付心電計1台	1,485千円
----------	---------

(3) 電算関連

Web予約システム	3,478千円
-----------	---------

ソフトウェア開発費	1,815千円
-----------	---------

(第4期特定健診・特定保健指導システム他)

1 1 その他

(1) 熊本県集団検診機関連絡会

当センターが事務局として、県内 10 ヶ所の集団検診機関及び行政との連携協力を図ることを目的に例年 2 回の定例会を開催している。本年度は令和 6 年 6 月 21 日(金)に定例会を熊本市において、令和 7 年 2 月 28 日(金)に定例会及び専門部会を熊本市において開催した。

(2) 熊本県胃検診推進協議会

当センターが事務局として、胃集団検診機関並びに胃がん精密検査機関の精度向上と健診業務等の円滑な推進を目的に研修会を開催した。

①令和 6 年 10 月 12 日(土) 熊本市

「膵癌における診断・治療の現状」

熊本大学病院 消化器内科 吉成 元宏 医師

②令和 7 年 3 月 10 日(月) 山鹿市

「除菌時代の胃がん検診」

済生会熊本病院予防医療センター センター長 満崎 克彦

③令和 7 年 3 月 14 日(金) 八代市

「当センターにおける胃がん内視鏡検診の現状

-H. pylori 未感染胃癌を中心に-

熊本県総合保健センター 副所長 村上 晴彦

(3) 主な行事

月	日	名 称	場 所
4	1	職員採用辞令交付式	熊本市
5	11・12	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024	熊本市
	15	令和5年度に係る事業及び会計監査	熊本市
6	3	第1回理事会	書面
	21	第1回熊本県集団検診機関連絡会	熊本市
	18	定時評議員会・臨時理事会	熊本市
9	12-13	日本対がん協会 がん征圧全国大会	埼玉県
	21	ヘルシーデイ（結核予防週間・がん征圧月間街頭キャンペーン）	熊本市
	30	結核予防週間キャンペーン	益城町
10	4	地域保健研修会	熊本市
12	27	仕事納め式	熊本市
1	6	仕事始め式	熊本市
	10	安全祈願式	熊本市
2	3	定期人事異動辞令交付式	熊本市
	5	第76回結核予防全国大会	岩手県
	14	令和6年度結核予防会・日本対がん協会九州・沖縄各県支部合同会議	佐賀県
	14	全衛連九州地方協議会	宮崎県
	28	第2回熊本県集団検診機関連絡会	熊本市
3	10	第2回理事会	熊本市
	27	創立記念日40周年・永年勤続者表彰	熊本市
	31	職員退職辞令交付式	熊本市

(4) 学会・研修会等参加状況

月	日	名称	場所
4	2	2024新入社員スタートアップセミナー	熊本市
4	19	第76回日本産科婦人科学会学術講演会	横浜市
5	9	第110回日本消化器病学会総会	徳島県
6	6	第63回日本消化器がん検診学会総会	愛知県
6	9	第9回胃がん検診専門技師研修会	WEB
6	13	日本がん登録協議会第33回学術集会	島根県
6	21	第123回日本消化器病学会・第117回日本消化器内視鏡学会	福岡県
6	21	日本超音波医学会第97回学術集会、教育セッション	WEB
7	21	2024年度日本内科学会生涯教育講演会Bセッション	愛知県
8	22	全衛連 健診機関職員研修会基礎コース	大阪府
8	23	第84回細胞検査士教育セミナー	WEB
9	16	日本超音波医学会第34回九州地方会学術集会/第23回九州地方会講習会	福岡県
9	28	第53回日本消化器がん検診学会九州地方会	沖縄県
10	8	第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会	WEB
10	10	中災防 心理相談専門研修	福岡県
10	11	第86回日本血液学会学術集会	WEB
10	16	新入職員フォローアップ研修	熊本市
10	19	第60回日本医学放射線学会秋季臨床大会	福岡県
10	23	第33回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会	青森県
10	27	日本超音波医学会第34回四国地方会学術集会/第23回四国地方会講習会	WEB
10	29	熊本地域糖尿病療養指導士認定研修会	WEB
10	16	第83回日本公衆衛生学会総会	北海道
11	16	第86回九州地区内視鏡機器取り扱い等(基礎編)講習会	鹿児島県
11	16	保健活動を考える自主的研修会	WEB
11	24	令和6年度全衛連運営研究協議会	新潟県
11	25	第39回超音波検査士認定試験	大阪府
11	2	健康運動指導士・健康運動実践指導者のための更新講習会	東京都
12	4	第63回日本臨床細胞学会秋季大会	WEB
12	6	化学物質管理者講習(取扱い事業場向け)講習会	熊本市
12	16	特定保健指導従事者向けセミナー	東京都
12	23	初心者の為の心電図講習会	WEB
1	27	検診機関職員研修会基礎コース	東京都
1	31	新会計基準への移行と必要な準備	熊本市
1	5	日本総合健診医学会第53回大会・国際健診学会	東京都
2	6	第76回結核予防全国大会	岩手県
2	7	日本総合健診医学会2025年度総合健診指導士・業務管理士研修会	WEB
2	9	新しい公益法人制度説明会	福岡県
2	14	令和6年度熊本県健康づくり県民会議	熊本市
2	15	第40回熊本県臨床細胞学会学術集会・総会	熊本市
2	16	第228回マンモグラフィ技術更新講習会	福岡県
3	1	令和6年度熊本産科婦人科学会 第248回学術講演会	熊本市

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和7年6月

公益財団法人 熊本県総合保健センター